

米農務省(USDA)クロープリポート

(9/10発表)

フジフューチャーズ株式会社 (情報企画課)

22年9月15日(水)

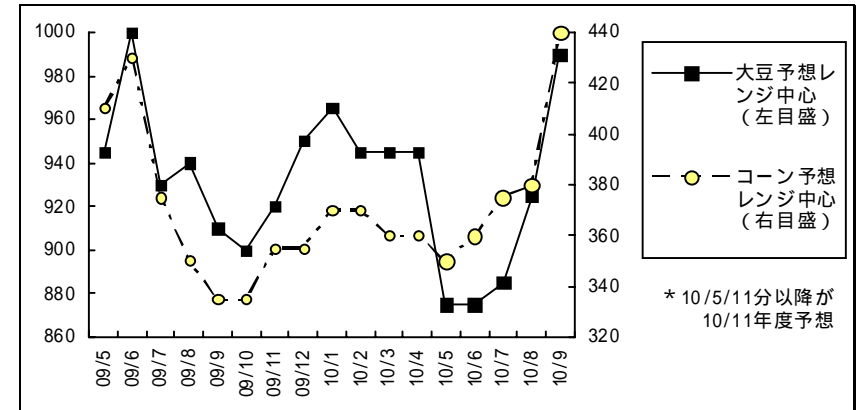
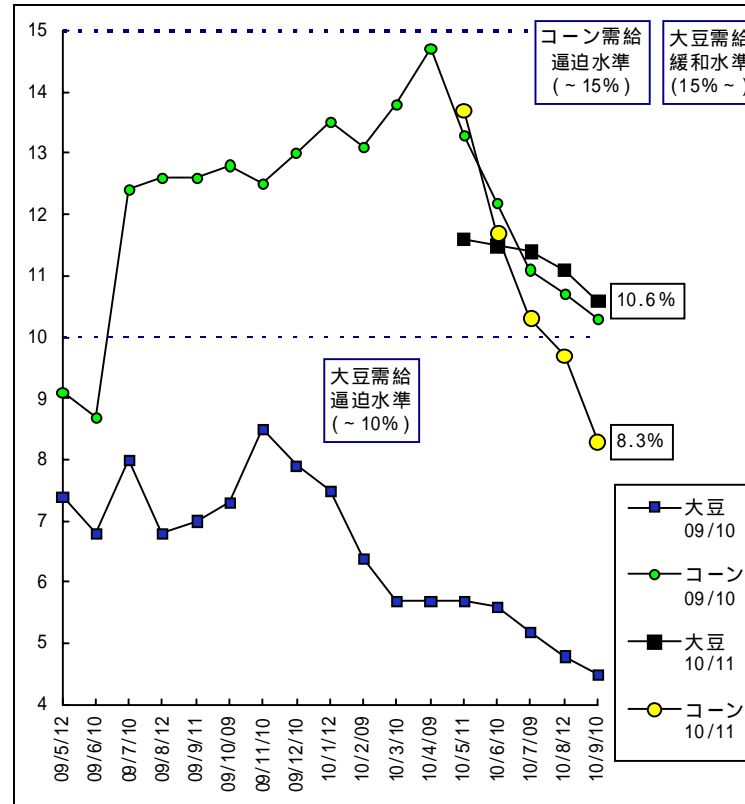
米国大豆需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11 年度		09/10 年度	
	9/10	8/12	9/10	8/12
総供給	3643	3603	3512	3512
期初在庫	150	160	138	138
生産	3483	3433	3359	3359
単収(bu/I-カー)	44.7	44.0	44.0	44.0
総需要	3293	3243	3363	3353
国内	1808	1808	1868	1883
輸出	1485	1435	1495	1470
期末在庫	350	360	150	160
期末在庫率	10.6%	11.1%	4.5%	4.8%
農家平均価格	915-1065	850-1000	960	960

米国コーン需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11 年度		09/10 年度	
	9/10	8/12	9/10	8/12
総供給	14556	14802	14791	14791
期初在庫	1386	1426	1673	1673
生産	13160	13365	13110	13110
単収(bu/I-カー)	162.5	165.0	164.7	164.7
総需要	13440	13490	13405	13365
国内	11340	11440	11425	11390
輸出	2100	2050	1980	1975
期末在庫	1116	1312	1386	1426
期末在庫率	8.3%	9.7%	10.3%	10.7%
農家平均価格	400-480	350-410	355	350-360

米国大豆・コーン期末在庫率予想の推移



農家平均価格(現物相場)予想の推移

10/11 年度の期末在庫率予想は

大豆 [10.6%] = 適正水準 米国内の需給予想(10/11 年度分)は、前回から「期初在庫 0.10 億 bu 減(前年度の需要を上方修正)、生産高 0.50 億 bu 増(単収予想[過去最高]を上方修正)」に対して「輸出 0.50 億 bu 増」となり、期末在庫 0.10 億 bu 減・同在庫率 0.5 ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は 65 セントも引き上げられた。世界全体の期末在庫予想も下方修正。主要国では、ブラジルとアルゼンチンの輸出予想が上方修正、中国の

需要・期末在庫予想が上方修正(輸入が大きく増加。前年度の輸入増加により期初在庫も増加)。

コーン [8.3%] = 需給逼迫水準 米国内の需給予想(10/11 年度分)は、前回から「期初在庫 0.40 億 bu 減(前年度の需要を上方修正)、生産高 2.05 億 bu 減(単収予想を下方修正。しかし過去最高)」に対して「国内消費 1.00 億 bu 減(高値で飼料需要減少)、輸出 0.50 億 bu 増」となり、期末在庫 1.96 億 bu 減・同在庫率 1.4 ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は 60 セントも引き上げられた。世界全体の期末在庫予想も下方修正。主要国では、中国の期末在庫予想が上方修正(前年度の輸入増加により期初在庫が増加)。

今回の発表は、事前予想との比較で「コーンが強気寄り、大豆が弱気寄り」の内容(概ね予想の範囲内)。市場には、今後、更なる「コーンの単収予想下方修正・輸出予想上方修正」「大豆の単収予想上方修正」を期待する向きが少なくない。ただ、その際、「大豆がコーン(や小麦)につれ高となる傾向」が弱まるかには、見方が分かれている様子。